

ニコニコ箱

今年初めての訪問です。よろしくお願いします。
 (ガバナー補佐 / 森陰輝夫様)
 森陰ガバナー補佐、ようこそ。(渡邊義信)
 小泉さんの卓話は素晴らしかったです。
 まだ聴いてませんが…。(佐々木知也)
 小泉さん、卓話ありがとうございました。(豊島雅之)
 小泉会員、卓話ありがとうございます。(森川圭造)
 甲子園、応援よろしくお願いします。(荻原昭人)
【誕生日御祝】 江守康昌・椿原徹也・鍋屋昌明
【結婚記念日御祝】 登谷大修・鷺田泰紀
 松田将裕

各 君

ロータリー財団増進特別寄付金

小泉会員、卓話ありがとうございます。(渡邊義信)
 野村委員長さん、一週間遅れとなりすいませんでした。小泉さん、卓話楽しみです。(朝倉真博)
 日本銀行 小泉さん、卓話ありがとうございました。大変勉強になりました。(杉本裕之)
 えち鉄が例会へ運んでくれるので 12 時には会場へ来ました。少し早すぎたようです。運転免許証は 4 年半前に返上しました。(宮崎茂和)
 小藤幸男

各 君

米山奨学特別寄付金

次年度の米山奨学生が決定しました。(渡邊義信)
 伊藤委員長さんのご好意で一週間の猶予を頂いた寄付です。(朝倉真博)
 小泉さん、卓話ありがとうございました。(天谷智宏)
 小泉さん、卓話大変勉強になりました。ありがとうございました。(北 晋介)
 小泉会員、卓話ありがとうございました。(小藤幸男)
 本日、商工会議所の観光列車研究会出席の為、早退させて頂きます。(清水嗣能)
 小泉さん、卓話ありがとうございます。(武本一美)
 カポレイ訪問の皆さん、大変お世話になりました。(平野洋一)
 ちょっと良い事が!(村井 勝)
 今度の日曜日は落合陽一さんにお会い出来る事になりました。楽しみです。(吉村千春)
 市橋信孝・木瀬雅博

各 君

寄付金の状況

	2月21日分	累計	目標
ニコニコ箱	30,000円	2,009,000円	3,200,000円
米山奨学金	24,000円	1,260,000円	2,372,000円
ロータリー財団	10,000円	2,024,981円	3,052,600円

ありがとうございました。

ビジター受付

- 2月25日(月) 福井東 アオッサ 1F 正面入口
- 2月28日(木) 武生府中 農協会館豊稷殿 1F 入口
- 2月28日(木) 福井水仙 福井パレスホテル 1F 18:00-18:30
- 3月 8日(金) 福井あじさい ホテルリバージュ アケボノ
- 3月 8日(金) 福井西 バードグリーンホテル 正面玄関入口
- 3月14日(木) 敦賀西事務局 (敦賀市東洋町 1-1 プラザ萬象)
- 3月14日(木) 福井水仙 福井パレスホテル 1F 18:00-18:30
- 3月18日(月) 福井東 アオッサ 1F 正面入口
- 3月28日(木) 敦賀西 事務局 (敦賀市東洋町 1-1 プラザ萬象)
- 3月29日(金) 福井西 バードグリーンホテル 正面玄関入口
- 3月29日(金) 三国 三国観光ホテル フロント
- 4月 2日(火) 福井南 織協ビル 1F
- 4月 4日(木) 福井水仙 福井パレスホテル 1F 18:00-18:30
- 4月 9日(火) 福井南 織協ビル 1F
- 4月12日(金) 福井あじさい ホテルリバージュ アケボノ



ROTARY CLUB of FUKUI

クラブスローガン: 学び、ロータリアンに



R.I. District 2650
 2018-2019 Weekly Bulletin
 2019年2月28日 第2412号(創刊2568号)



2018-2019年度 R.I.テーマ: インスピレーションになる

R.I.会長 バリー・ラシン R.I.第2650地区ガバナー 中川 基成

福井ロータリークラブ会報

地区スローガン: ロータリーを学び、実践し、発信しよう! Enjoy Rotary

理 事		監 事		役員補佐			
会長	渡邊 義信	クラブ奉仕	石丸 敦士	監事	玉木 洋	副幹事	清川 卓二
副会長・会長エレクト	林 正岳	職業奉仕	佐々木知也	監事	岩下 春幸	副会計	清水 正一
直前会長	平野 洋一	社会奉仕	江守 康昌			副会場監督	奥村 隆司
幹事	森川 圭造	国際奉仕	清水 則明			副会場監督	中広 久
会計	浅井 正勝	青少年奉仕	藤本 潤一				
会場監督	片山加奈子	ロータリー財団	野村 直之				

2月は「平和と紛争予防 / 紛争解決月間」です 一人一人のささやかな努力が、平和への最も確実で最も力強い礎になる。

本日の例会 2019年2月28日 第3363回

今後の予定

12時30分 開会点鐘
 会長挨拶
 米山奨学金授与(トランティトアさん)
 委員会報告・幹事報告・その他
 ゲスト卓話(福井県里親会 会長 福谷 光則様
 福井県共同募金会 主任 鷹尾 大英様)
 演 題「里親をやってみてわかったこと
 ~ 赤い羽根の社会貢献推進運動 ~」

13時30分 閉会点鐘

- 3月7日(木) 栄誉行事 / 林会長エレクト卓話
- 3月14日(木) ローターアクトクラブと合同例会 (会場: ジャルダン)
- 3月17日(日) ドラゴンリバー交流会主催: 足羽川清掃活動
- 3月21日(木) 休 会
- 3月28日(木) ゲスト卓話
- 3月30日(土) ~ 31日(日) 地区大会

2018-19年度 会長 渡邊 義信



カポレイロータリークラブの例会に参加していただいた皆さん「おかえりなさい。」本当にありがとうございました。先週の例会は村中直前幹事に司会を務めていただき新鮮な気持ちで例会を進めることが出来たことも御礼申し上げます。

さて本日は、2月10日に開花亭(開発会員)で「越前がにGI(地理的表示保護制度)登録記念イベント」にお邪魔させていただきましたことをお話しさせていただきます。

福井の冬の風物詩 越前がにを地元で食べられている調理法とは違ったアプローチでイタリアンの巨匠片岡 護シェフ(西麻布 アルポルト)に解釈いただきました。ゲストに 服部学園の服部 幸應校長 数々の有名料理番組を監修されているフードコーディネーターの結城 摂子さんがお見えで 越前がにの魅力と可能性についてたっぷりとお話を聞かせていただきました。

今回のテーマである、地理的表示(GI)保護制度について

地域には、伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地等の特性が、品質等の特性に結びついている産品が多く存在しています。これらの産品の名称(地理的表示)を知的財産として登録し、保護する制度が「地理的表示保護制度」です。農林水産省は、地理的表示保護制度の導入を通じて、それらの生産業者の利益の保護を図ると同時に、農林水産業や関連産業の発展、需要者の利益を図るよう取組を進めてまいります。

鯖江吉川ナス・小浜谷田部ねぎ・若狭山内かぶら・大野上庄さといも・若狭小浜小鯛ささ漬・三国越前がに・6品が福井県から認定されていますことを知りました。その場でもゲストの方々から福井には本当に食の宝物が豊富で、まさしく「食は文化」と評価されておられて私たち自身がもっと地元の食について勉強をすると痛感いたしました。

次回の例会 2019年3月7日(木)

- 会場: ユアーズホテルフクイ
- 開会点鐘: 12時30分
- 閉会点鐘: 13時30分
- 栄誉行事 / 会長エレクト卓話(林 正岳 会長エレクト)

2019年 2月 21日 第3362回

出席報告	● 現在会員	137名	例会修正出席率	2月7日	
	● 出席者	78名		● メークアップ	36名
	● 欠席者	50名		● 欠席者	25名
	● 出席免除者欠席	9名		● 修正出席率	81.2%
	● 今回例会出席率	60.9%			

●メークアップ 宮崎茂和・岩崎 新・城戸利枝(2/16 地区第2回合同地区委員会)、北 晋介(2/19 福井南)、中島良成・山本恵・大村宏司・渡辺和男・北 晋介・白江文夫・上田祐広・村上与司和・椿原徹也・清水嗣能(2/22 福井あじさい)、椿原徹也(2/22 福井西)、木村憲一・藤本潤一・伊藤 彰・城戸利枝(2/23 地区 2019-20年度第1回合同地区委員会・第2回地区チーム研修セミナー)、木村憲一・林正岳(2/24 地区 RLI 卒後コース)、武本一美・大村宏司・清水則明・市橋信孝・北 晋介・中島良成(2/25 福井東) 各 君

例会報告

♪ロータリーソング♪
「四つのテスト」
角谷 恒彦 ソングリーダー

本日のビジター

ガバナー補佐 森陰 輝夫 様



米山ランチ
(カレーライス)
と
カポレイ訪問お土産
(チョコ)



幹事報告



幹事 森川 圭造

① 本日の食事は米山ランチで「カレーライス」です。米山ランチとは、通常のお食事から少し代金を浮かせてその分を米山奨学会への寄付をしております。同じように財団ランチいうものもございます。共に年2回ずつ設定しております。
② 地区のホームページに2月11日に開催されました地区社会奉仕委員長会議にて、当クラブの渡邊義信会長が活動事例発表された模様の写真が掲載されております。地区のホームページをご覧ください。
③ 次週の例会で カポレイ RC 友好訪問について 清水則明国際奉仕担当理事より写真をまじえて報告させていただきます。

ガバナー補佐 挨拶



森陰 輝夫ガバナー補佐

次年度の佐竹ガバナーがアメリカの国際協議会に参加されました。女性会員もいなくて男性だけで伝統的なクラブと言う事をお話したところ周りの方には相手にされなかった。世界も伝統的なものから時代の流れと共に変わってきて革新が起きてきているとおっしゃっていました。規定審議会の定款細則、10何年かけて各クラブさんも私が担当しているクラブも7クラブありますがその中でも例会の数を減らしたり、女性の会員を増員したり、あるいは祝日のある週はお休みにするとかそういう形に変わってきております。各クラブさんも実行された時点でアンケートの途中経過をとったところ賛否両論あり、半々で拮抗していると結果が出たと聞いております。あくまでも半期の結果なのでどういう結果になるかどうか評価していくと各クラブの方もおっしゃっていました。貴クラブは、ほとんど社会奉仕活動や懇親親睦活動など残り4か月ではありますが予定通り進捗が行われているとは思いますが再度チェックをしてもらい、次年度に引き継ぐ。中川ガバナーが基本とするマイロータリーの登録、この分に関してもお願いしたいですが登録するだけでは意味がないので登録して実行してそれを見に行くようお願いしたい。今回クラブのロータリー賞、ガバナー賞を受賞されると言う事でそれに向かって力を入れて各委員長の下に活動して頂きたいと中川ガバナーから受けております。特に希望の風奨学金について各クラブに四半期ごとでお伺いしておりますが、個々に希望の風奨学金という制度が何かわからないということでお話があるのでロータリーの友の昨年9月号に詳細が載っております。2011年の東北大地震を機会に両親、片親が亡くなられた子供さんに将来大学進学までの奨学金を打ち立てようということで行ったものであります。いずれ2033年までと言う事らしいです。学生さんの数が2018年時点で1100人位、プールされているのが2018年で4億2千万程が手元に残っており、2025年までの学生さんに関しては出させて頂ける力があるらしいのですが、残り2033年までの分が1億8千9百万程足りない。情報としては年々6割くらいの寄付金が減ってきているので2033年までの学生さんが最終的に卒業されるまでの奨学金が難しいと言う事で次年度もそのような予算を立てて頂きたいと中川ガバナーから預かっております。
地区大会 奈良の橿原神社の方で地区大会があるのですが福井から奈良まで行かれるのが難しいと言う事で全体的に奈良の飛鳥クラブの集計によると2450名位、残り50名、目標は2500人だそうです。ちなみに昨年の京都は2800人だったそうです。2500名まで到達できれば地区大会も盛り上がりしていくのではないかと考えています。出来るだけ出席いただきます様お願いしたいと思います。あと2年後には福井で開催されますので福井クラブの方にもお力をお借りしたいと思います。

会員卓話



小泉 達哉 会員

「福井県経済の現状と今後の課題について」

福井県の実質経済成長率は直近の2015年度データでみると+4.8%と全国第2位の伸び率です。バブル期の日本の成長率が5%強ですので、福井県がいかにハイスピードであるかが分かります。この福井県の高成長を支えているのは、電子部品デバイス等の輸出産業で、その背景には世界経済の安定的な成長があります。この間、県内には電子部品デバイス等と並んで繊維や眼鏡といった主要産業があります。それらの産業では、過去永年に亘る中国企業等との厳しい競争の経験から新たな設備投資に慎重な先が多く、既存の設備で高水準の受注を捌いているため、生産は概ね横這い圏内の動きとなっています。

当県の経済成長の原動力になってきた世界経済について、このところ、その先行きに不透明感が強まっています。その主たる要因は米中間の「貿易戦争」で、特に中国経済の動向に注目が集まっています。確かに、中国の輸出入は足許減速しており、国内の一部にも弱い動きがみられます。ただ、中国の内需や生産は全体としてみれば高水準を維持しており、中国政府も、経済のハードランディングを避けるため、財政・金融両面で機動的な景気下支え策を発動していく方針を表明しています。そうした状況を踏まえると、中国経済は減速しつつも底堅く推移していくのではないかと考えられます。因みに、先月発表されたIMFの経済見通しでも、2019年の中国は6.2%成長と、前年より幾分スローダウンするものの、引続きこれまでの成長レベルが維持される内容となっています。

福井県経済の今後の課題のうち特に重要と考えられる2点について申し述べます。一つは人手不足への対応です。福井県の有効求人倍率は2倍を超え全国トップクラスで、バブル期末期の過去最高水準に迫る勢いです。これは企業の求人数が繰り上がりであるのに対して、職を求める人の数はほぼ一貫して減少しているためです。戦後、福井県では、第一次オイルショックやバブル崩壊、リーマンショック後に求職者数が一時的に増加した時期がありました。ただ、福井県も1999年をピークに人口減少時代に突入しており、今後、過去のような求職者の増加がどの程度みられるかは予断を許しません。このため、企業としては人手不足問題に対応して、省人化・合理化投資や、女性、高齢者、外国人の活用を模索することが喫緊の課題と言えます。このうち外国人の採用については、県内でも既に製造業を中心に急速に増加しています。

もう一つの課題は非製造業の利益率向上です。県内では製造業の利益率が大幅に上昇する一方で、非製造業はほぼ横這いであります。しかし、全国ベースでみると非製造業の利益率は企業規模に関わらず上昇しています。コスト削減に加え、ITの活用や事業の選択と集中、BPR等が図られていることを示しています。そうした中、県内非製造業でも、ここへきて設備投資が大幅に増加しています。県内非製造業でも、昨今の人手不足やコストの上昇に直面して、各種の省人化・合理化投資等に取り組み始めた姿が窺われます。当面の景気動向に関わらず、人手不足にどう対応するか、利益を生み出す体制にどう転換していくかが待たなしの課題となっており、全国的な動きをみると、それらの課題解決に向けて果敢にリスクテイクした先が更なるステップアップを実現しています。

(注) 卓話資料2頁下段の「1人当たり県民所得」の全国平均を指し示す点線横棒が少々下方にずれておりますが、実額(3,190千円)に相違はありませんので申し添えます。

カポレイ RC 友好訪問 part2

先週掲載致しました、カポレイ RC 友好訪問 part2です。カポレイ RC とランチミーティング後、カポレイゴルフクラブにてゴルフを楽しみました。ゴルフ後はワイキキに戻り、福井ナイトを開催しました。

